

日産車体株式会社 投資家向け説明会（2024年6月開催）

質疑応答 概要

<回答者>

社外取締役 大平 靖之

.....

Q. 取締役選任議案に対する少数株主の支持増加策について

A. 指名・報酬委員会としては、当社にとってどのようなリーダーシップが必要なのか、どのようなことが要求されているのかという観点を持って確認評価している。代表取締役に求められる要件は当社事業全般に関する豊富な経験および幅広い見識をもっていること、かつ強いリーダーシップを持つものとされている。従って、日産出身か社外出身ではなく、当社として一番ふさわしいという観点から指名している。

Q. 日産への資金提供（CMS）に対する少数株主の支持が得られる経営方針への転換について

A. 当社にとってどのような選択をするのが一番良いのか、株主利益に繋がるのか、という観点から独立的・客観的に判断している。安全かつ確実に運用利回りが確保でき、資金需要に対する流動性があり、かつ支払代行機能などの利便性が高いことも総合的に勘案すると、このキャッシュマネジメントシステムを継続することは妥当で合理的であると判断している。

Q. 日産との取引に対する取引モニタリング委員会のモニタリングの状況について

A. 日産との取引価格の妥当性については、我々の最大の責務の一つとしてかなり緻密検討をしている。利益率は中々思うようには上がっていないが、その内容については株主様の利益を損なうものではないと確実に認識している。

<回答者>

取締役 吉村 東彦

.....

Q. 電気自動車の向こう3年間の生産台数・割合について。

A. 日産の電動化技術ならびに自動運転技術、コネクテッド技術、戦力については当社としても必要な技術開発を進めているが、現時点、今後3年間で電動車やガソリン車が何パーセントになるかは明確に申し上げられない。